2026 年 11 月 16 日

野村ホールディングス株式会社
株式会社野村総合研究所
株式会社 BOOSTRY

野村ホールディングス・野村総合研究所・BOOSTRY、オンチェーン金融の社会実装に向け協業
～野村ホールディングスと BOOSTRY が Canton Network の Super Validator に選出、金融機関のオンチェーン金融参入を支援～

野村ホールディングス株式会社（代表執行役社長 グループ CEO：奥田健太郎、以下「野村ホールディングス」）、株式会社野村総合研究所（代表取締役 社長：柳澤花芽、以下「NRI」）、株式会社 BOOSTRY（代表取締役社長：平井数磨、以下「BOOSTRY」）の 3 社は、国内外におけるオンチェーン金融の発展と社会実装に向け、3 社で協業することに向けて検討を開始します。本協業の第一弾として、野村ホールディングスと BOOSTRY は、金融市場向けに設計されたブロックチェーンネットワーク「Canton Network※1」の Super Validator※2 に選出されました。3 社は、金融商品・サービスの企画、ブロックチェーンおよび金融アプリケーションの開発・運用、既存金融システムとの接続という各社の強みを組み合わせ、金融機関によるオンチェーン金融への円滑な参入を一体的に支援していきます。

1. 協業の背景

金融市場では、国債、社債、株式、ファンドなどの金融資産をブロックチェーン上で管理し、移転、決済、担保利用などに活用するオンチェーン金融の取り組みが進展しています。Canton Network は、規制対象金融機関に求められるプライバシーとコントロールを維持しながら、異なる金融アプリケーション、資産および市場参加者を相互接続することを目指すオープンなブロックチェーンネットワークです。このネットワークの下で、既に米国債をはじめとする現実資産のトークン化や、オンチェーンでの資金調達・担保活用など、資本市場の高度化に向けた取り組みが進められています。Super Validator は、Canton Network の中核である Global Synchronizer※3 のガバナンスと運営の調整にお

いて中心的な役割を担っています。こうした環境を踏まえ、3 社は、野村ホールディングスと BOOSTRY の Canton Network の Super Validator 選出を起点として、日本の金融機関とグローバルなオンチェーン金融市場をつなぐ基盤の構築に向けて協業を検討します。

2. 検討中の協業の取り組み内容

野村ホールディングスは、グループとして、ブロックチェーン技術を活用したデジタルアセット関連事業を、多様なパートナーとの連携や多角的なアプローチにより推進しています。本取り組みでは、Canton Network への参画を通じて、同ネットワーク上のグローバルな金融機関や金融アプリケーション、デジタルアセットを取り扱う金融市場との接続を進めます。これにより、投資家に多様な投資機会を提供するとともに、既存の有価証券をオンチェーン金融基盤上で取り扱い、移転、決済、担保管理など一連の取引プロセスの効率化・高度化を図ります。

NRI はオンチェーン金融領域における将来のビジネス展開を見据え、システム化構想の検討を進めています。本取り組みの第一歩として、ホールセール証券業務を支える「I-STAR※4」シリーズとのシナジー創出を図るべく、金融機関が利用する既存システムとオンチェーン金融基盤を接続する新サービスの開発を推進します。その新サービスは、ブロックチェーン上の取引や残高情報をリアルタイムで把握し、既存の基幹システムとの連携を担うものです。

BOOSTRY は、Super Validator としての参画を通じ、野村ホールディングスとともに Canton Network のエコシステム拡大に貢献するとともに、ネットワーク運用、金融システム接続およびオンチェーンアプリケーションに関する知見を蓄積しプロダクト開発を進めていきます。具体的には Canton Network と「ibet for Fin※5」を接続するためのプロトコル開発を完了するとともに、金融機関向けマルチチェーン対応ウォレット※6 の本番運用を 2026 年 9 月から開始しました。

3. 今後の展望

3 社は、それぞれの役割を連携させることで、金融機関によるオンチェーン金融への参入を、以下の領域から一体的に支援します。

・金融商品・サービスの企画
・ブロックチェーンとの接続およびノード運用
・ウォレット・オンチェーンアプリケーションの提供
・既存の証券・決済システムとの連携
・導入後のシステム運用

今後、国債、社債、株式、ファンド等を対象として、発行、管理、移転、決済、担保利用などのユースケースを検討し、国内外の金融市場をつなぐ、安全で実用的なオンチェーン金融基盤の実現を目指します。

※1　Digital Asset Holdings, LLC が開発を主導する、機関投資家向け金融に特化して構築されたブロックチェーン
詳細［https://www.canton.network/］

※2　同ネットワークのガバナンスや取引の承認・管理を担う主要なノード群であり、厳格な審査のもと主要金融機関や大手インフラ事業者などが運用。Canton Network の信頼性と中立性を支える中核的なネットワーク運営参加者で世界の主要金融機関やシステム会社等で構成。
詳細［https://canton.foundation/about-the-foundation/］

※3　Canton Network 上の異なるアプリケーションやサブネット間を相互接続し、アトミックな決済（モノと対価が同時かつ不可分に移転する決済）を実現する分散型同期インフラ。
詳細［https://www.canton.network/global-synchronizer］

※4　I-STAR：NRI が提供する、約定管理から決済、証券・資金残高管理、会計、対外報告まで、ホールセール証券会社のバックオフィス業務を支援するソリューション。
詳細［https://www.nri.com/jp/service/solution/i_star_core.html］

※5　BOOSTRY が運営を主導するセキュリティ・トークン（以下「ST」）の発行と流通に特化したコンソーシアム型のブロックチェーンプラットフォーム。
詳細［https://www.ibet.jp/ibet-for-fin］

※6　BOOSTRY が提供するオンチェーン金融対応のウォレット。初回のスコープとして Canton Network に対応。
詳細［https://www.nomuraholdings.com/jp/news/nr/bstr20260804.html］

野村ホールディングスについて

野村ホールディングスは、証券業を中核とする投資・金融サービス業およびその関連する事業を営む会社の株式を保有することにより、当該会社の事業活動を支配・管理する持株会社です。

- 所在地：東京都中央区日本橋 1-13-1
- 代表者：代表執行役社長　グループ CEO　奥田健太郎
- ウェブサイト：https://www.nomura.com/jp/

野村総合研究所について

野村総合研究所（NRI）は、1965 年に日本初の民間総合シンクタンクとして誕生して以来、長年にわたり、企業戦略の提案や政策提言、システム開発・運用を行ってきました。「新しい社会のパラダイムを洞察し、その実現を担う」「お客様の信頼を得て、お客様とともに栄える」を企業理念に掲げ、「コンサルティング」「金融 IT ソリューション」「産業 IT ソリューション」「IT 基盤サービス」の 4 事業を通じて、国内外の企業・行政の活動や、社会・暮らしを支えています。

- 所在地：東京都千代田区大手町 1-9-2 大手町フィナンシャルシティ グランキューブ
- 代表者：代表取締役 社長　柳澤花芽
- ウェブサイト：https://www.nri.com/

BOOSTRY について

BOOSTRY は、「すべての権利をデジタル化し、挑戦者と支援者を結びつける」をミッションに、ST をはじめとするデジタルアセットの発行・管理・流通に必要な IT サービスを提供しています。金融機関向けウォレットサービス「E-Wallet」、発行・原簿管理サービス「E-Prime」、およびブロックチェーンネットワーク「ibet for Fin」等を展開しています。

- 所在地：東京都千代田区岩本町三丁目 9 番 2 号 PMO 岩本町 4 階
- 代表者：代表取締役社長　平井数磨
- ウェブサイト：https://boostry.co.jp/

以　上

【お知らせに関するお問い合わせ】

株式会社野村総合研究所　コーポレートコミュニケーション部　弓野、吉田

TEL：03-5877-7100　E-mail：kouhou@nri.co.jp